

分野：水産業分野

戦略の柱：市場対応力のある産地加工体制の確立

取組方針：高度加工ビジネスへのステップアップ、加工関連ビジネスの展開、輸出の促進

【概要・目的】

国内外の市場に対応できる産地加工体制を確立し、生産の拡大により雇用の場の創出を図るために、輸出に対応した加工施設等の整備支援や既存加工施設の衛生管理体制の高度化に向けた事業者のフォローアップ、海外市場の販路開拓を行う。

平成 30 年度の当初計画 (P)

1. 高度加工ビジネスへのステップアップ

- (1) 既存加工施設の高度化
・ 宿毛市、須崎市での養殖魚前処理加工を支援
・ 既存加工事業者の外商活動等を支援
・ 水産物の産地認知度の向上のための地域を主体としたプロモーション活動を支援
・ 加工事業者の事業戦略策定を支援 (地産地消・外商課と連携)
(2) 既存加工施設の衛生管理体制の強化
・ HACCP 研修 (地産地消・外商課主催) への水産関係事業者の参加促進
・ 研修受講者に対するフォローアップ
(3) HACCP に対応した加工施設の立地促進
・ (株) 高知道水による加工施設等の整備を支援
・ 加工事業者の輸出に対応した HACCP 認証取得を支援

2. 加工関連ビジネスの展開

- ・ 土佐清水市による冷凍保管、残渣加工、共同加工施設の計画的な整備を支援 (冷凍保管施設は H30 年度末に完成)
・ 【再掲】 民間企業による加工施設等の整備を支援

3. 輸出の促進

- (1) 養殖魚の加工と連動した海外市場への販路開拓
○ 高知県養殖魚輸出促進協議会の活動支援
【見本市】シンガポール：FHA (4月)、タイ：タイフェックス (5月)、ベトナム：ベトフィッシュ (8月)、香港：シーフードエキスポアジア (9月)、アラブ首長国連邦：シーフェックス (10月)、沖縄：大交易会 (11月)、米国：シーフードエキスポノースアメリカ (3月)
○ 国内外輸出商社等の産地招へいによる輸出商材の磨き上げや発掘
○ 海外の「高知家の魚応援の店」の活用

計画を進めるに当たってのポイント

- 1. 事業者のニーズ把握と取組への理解の促進、事業者のフォローアップや新たな掘り起こしが不可欠
2. 聞き取りや既存データを精査し、より現実的な事業プランを検討する
3. 輸出ビジネス展開の機運の醸成と、協議会との連携による輸出ビジネスの戦略構築に向けた海外市場調査の実施

平成 30 年度の取り組み状況 (D)

1. 高度加工ビジネスへのステップアップ

- (1) 既存加工施設の高度化
○ 既存加工事業者に関する支援
・ 宿毛市で養殖ブリ、養殖マダイの前処理加工が継続
ブリ：143,058尾 (11月末、前年同期比 156%)、マダイ：68,830尾 (11月末、前年同期比 272%)
・ 高知県水産物加工販売組合関連
総会の開催 (5/10)、シーフードショー東京へ 6 事業者参加 (8/22~24)
○ 地域を主体としたプロモーション活動
・ マグロのまち大月推進協議会
高知県水産物地産外商推進事業費補助金の交付決定 (4/18)
県内外のイベントで大月産本マグロの PR、幡多バル(神戸)でのマグロ解体ショー(9/29)、マグロモニターツアーの実施 (12/16)
・ 宗田節をもっと知ってもらいたい委員会
高知県水産物地産外商推進事業費補助金の交付決定 (4/11)
宗田節ロード 2018・2019 の展開、高知龍馬空港での宗田節 PR (8/13、12/21)
○ 水産加工事業者の事業戦略の策定支援
・ 地産地消・外商課が主催する事業戦略策定セミナー等への参加を支援、食品加工事業者のための事業戦略セミナー：4 事業者 (6/12)、第 1~4 回商品開発力・販売力アップ塾及び事業戦略策定会議 (12/12) で事業戦略を策定：1 事業者
(2) 既存加工施設の衛生管理体制の強化
・ 県版 HACCP 研修 (地産地消・外商課主催) 開催支援：8 事業者が参加予定 (12 月末)
・ 県版 HACCP 認証取得状況<累計>第 3 ステージ：5 事業者、第 2 ステージ：6 事業者
・ 土佐清水市の節納屋等を対象に地域本部が主催する HACCP 説明会の開催支援：9 事業者 (7/24)、節納屋の県版 HACCP 研修参加：10 事業者 (8/22、23)
(3) HACCP に対応した加工施設の立地促進
・ (株) 高知道水が加工施設等の整備工事に着工 (5/21)
2. 加工関連ビジネスの展開
・ 土佐清水市が残渣加工施設の実施設設計に着手 (6/30)
・ 土佐清水市が冷凍保管施設の整備工事に着工 (7/26)
・ 【再掲】 (株) 高知道水が加工施設等の整備工事に着工 (5/21)
3. 輸出の促進
(1) 養殖魚の加工と連動した海外市場への販路開拓
○ 輸出に対応した HACCP 認定取得の推進
・ 新たな加工施設への HACCP 導入に向けた専門家派遣等を支援
○ 高知県養殖魚輸出促進協議会の活動支援
・ 協議会の開催 (第 1 回 (5/18) H29 活動実績を承認、第 2 回 (11/16) )
・ [見本市]シンガポール：FHA (4/24~27)、タイ：タイフェックス (5/29~6/2)、ベトナム：ベトフィッシュ (8/22~24)、香港：シーフードエキスポアジア (9/4~6)、ドバイ：シーフェックス (10/30~11/1)、米国：シーフードエキスポノースアメリカ (3/17~19 予定)
○ 海外の「高知家の魚応援の店」の活用
・ シンガポール、タイでの見本市出展渡航時に登録店舗との情報交換を実施

課題と平成 31 年度の取り組み (C、A)

見えてきた課題・改善策

1. 高度加工ビジネスへのステップアップ

- (1) 既存加工施設の高度化
・ 既存加工事業者の加工品の販路拡大の継続
・ 地域を主体としたプロモーション活動のブラッシュアップ
・ 中長期的な事業戦略の必要性を加工事業者に浸透
(2) 既存加工施設の衛生管理体制の強化
・ HACCP 取得に必要な施設改修や人材の育成
・ HACCP 研修受講後のフォローアップ
(3) HACCP に対応した加工施設の立地促進
・ 輸出に対応した HACCP 認証取得に向けソフト面の強化
2. 加工関連ビジネスの展開
・ 早期の共同加工施設の事業計画策定
・ 整備後の冷凍保管施設 (土佐清水市、(株) 高知道水) の有効活用 (幡多圏域での広域活用)
3. 輸出の促進
(1) 養殖魚の加工と連動した海外市場への販路開拓
・ 輸出先現地パートナー等との関係構築
・ 新たな市場への挑戦
・ 輸出に適した加工用原魚の確保

平成 31 年度の取り組み (予定)

1. 高度加工ビジネスへのステップアップ

- (1) 既存加工施設の高度化
・ 既存加工事業者の商談会参加等を支援
・ 地域を主体としたプロモーション活動を支援
・ 「商品開発力・販売力アップ塾」への参加呼びかけ
(2) 既存加工施設の衛生管理体制の強化
・ HACCP への対応が遅れている事業者への呼びかけ強化
(3) HACCP に対応した加工施設の立地促進
・ (株) 高知道水の加工施設等の運営を支援
・ (株) 高知道水、(株) 土佐西南丸、(株) 勇進の (一社) 大日本水産会 HACCP コンサル受講支援
2. 加工関連ビジネスの展開
○ 土佐清水市による冷凍保管施設等の計画的な整備及び国費導入に向けた支援
・ 冷凍保管施設の運営支援 ・ 残渣加工施設の整備
・ 共同加工施設の実施設設計
○ (株) 高知道水の加工施設等の運営を支援【再掲】
3. 輸出の促進

- (1) 養殖魚を中心とする水産物の加工と連動した海外市場への販路開拓
○ 輸出に対応した HACCP 認定取得の推進
○ [拡充] 高知県水産物輸出促進協議会 (高知県養殖魚輸出促進協議会を改組) の活動支援
(中国 (上海・青島)、米国 (NY・ボストン)、タイ、ベトナム、香港、ドバイ、沖縄、シンガポール)
○ 輸出に適した加工用原魚の確保
○ 国内外輸出商社等の産地招へいによる輸出商材の磨き上げや発掘
○ 海外の「高知家の魚応援の店」との連携

【平成 31 年度末の目標 (H30 到達目標)】

- 1. 地域 AP や 6 次産業化等による水産加工出荷額が増加 = H31：8.0 億円 <H30：7.7 億 (H26 比+0.9 億円)>
2. HACCP 導入のための専門家による指導回数 = H31：9 回 <H30：4 回 (H27 比+4 回)>
(輸出に対応した加工施設等整備支援 = H31：加工施設等の完成 <H30:加工施設等の完成、一部稼働開始>)
3. HACCP 等の研修に参加した事業者の割合 = H31：100% <H30：75% (H27 比+26%)>
4. 幡多圏域での残さい加工ビジネスの構築 = H31:幡多圏域での新たな残さい加工施設の稼働 <H30：残さい加工施設の実施設設計>
5. 新たな冷凍保管ビジネスの構築 = H31：新たな冷凍保管ビジネスの開始 <H30:冷凍保管施設の竣工 (土佐清水市、宿毛市)>
6. 国際見本市への出展 = H31：7 回 <H30：6 回 (H27 比+6 回)>

【直近の成果】

- 1. 地域 AP や 6 次産業化等による水産加工出荷額が増加 : -
2. HACCP 導入のための専門家による指導回数 : 1 回 (H31 年 3 月予定)
3. HACCP 等の研修に参加した事業者の割合 : 95% (12 月末予定) 【対前年同期比：27%増】
4. 幡多圏域での残さい加工ビジネスの構築 : 残渣加工施設の実施設設計に着手
5. 新たな冷凍保管ビジネスの構築 : 冷凍保管施設の本体工事に着手 (土佐清水市、宿毛市)
6. 国際見本市への出展 : 5 回 (シンガポール：FHA (4月)、タイ：タイフェックス (5~6月))
ベトナム：ベトフィッシュ (8月)、香港：シーフードエキスポアジア (9月)
ドバイ：シーフェックス (10月) 【対前年同期比増減なし】